

2026年3月期 決算の概要

2026年5月15日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

証券コード **7327**

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

2026年3月期 主なポイント



DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ

“飛躍のステージ”

第三次中期経営計画

(3rd Stage: 2025/3期 – 2027/3期)

2026年3月期

第三次中期経営計画の最終年度（2027年3月期）の
当期純利益目標を1年前倒しで達成



FG連結当期純利益は前年比 + 127億円の421億円

- ✓ 銀行単体の当期純利益は前年比 + 133億円、資金利益・非金利収益ともに増加
- ✓ 連結ROEは、前年比 + 2.0ptの8.0%に上昇

2026.4.27 増配予想開示済



2026年3月期の1株当たり年間配当金は63円、前年比 + 19.33円

- ✓ 株主還元方針に基づき、期末配当は27円から+9円増配となる36円 (株式分割後換算)
- ✓ 2026年3月期の配当性向は40.0%

2026.4.27 上方修正開示済



2027年3月期（業績予想）のFG連結当期純利益は500億円へ

- ✓ 2027年3月期のFG連結当期純利益は2025年3月の公表値から + 100億円 (上方修正に関する詳細はP13参照)

FG連結当期純利益

FG連結 (億円)

421

前年比

**+ 127 億円
(+ 43.4%)**

2025年5月に公表した

**当初業績
予想比**

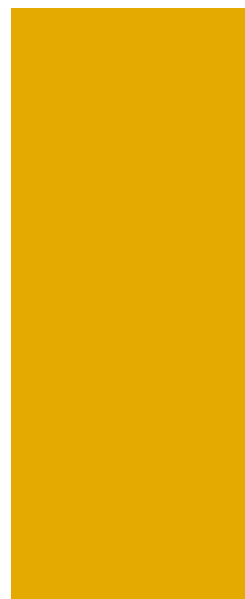
**+ 91 億円
(+ 27.5%)**

2025年9月に公表した

**上方修正
予想比**

**+ 61 億円
(+ 16.9%)**

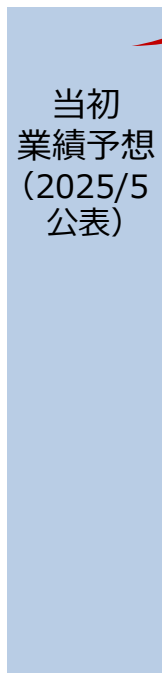
293



2025年3月期

330

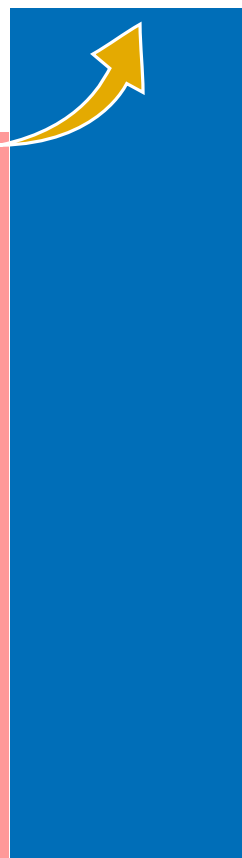
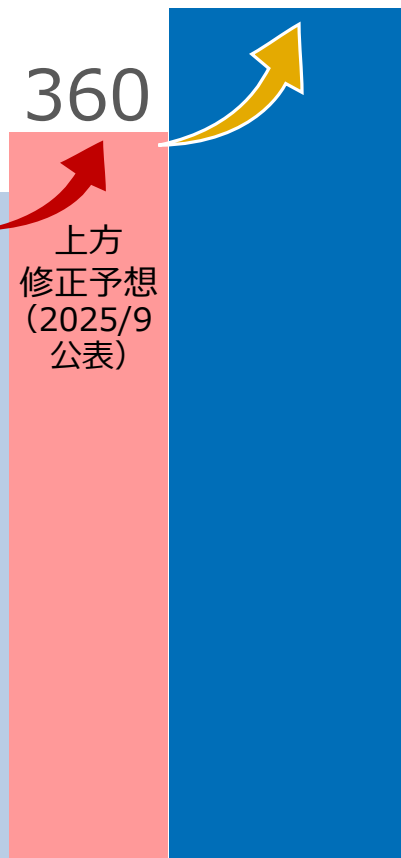
当初
業績予想
(2025/5
公表)



2026年3月期

360

上方
修正予想
(2025/9
公表)



部門別 当期純利益の状況

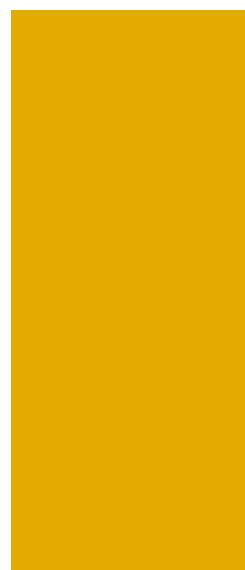
銀行単体 (億円)

385

前年比

+ 133億円
(+ 52.7%)

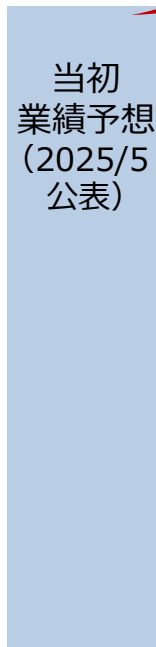
252



2025年3月期

290

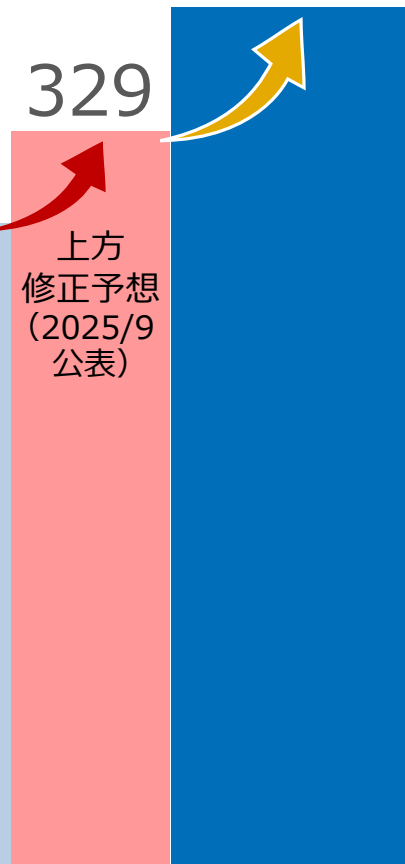
当初
業績予想
(2025/5
公表)



2026年3月期

329

上方
修正予想
(2025/9
公表)



2025年5月に公表した

**当初業績
予想比**

+ 95億円
(+ 32.9%)

2025年9月に公表した

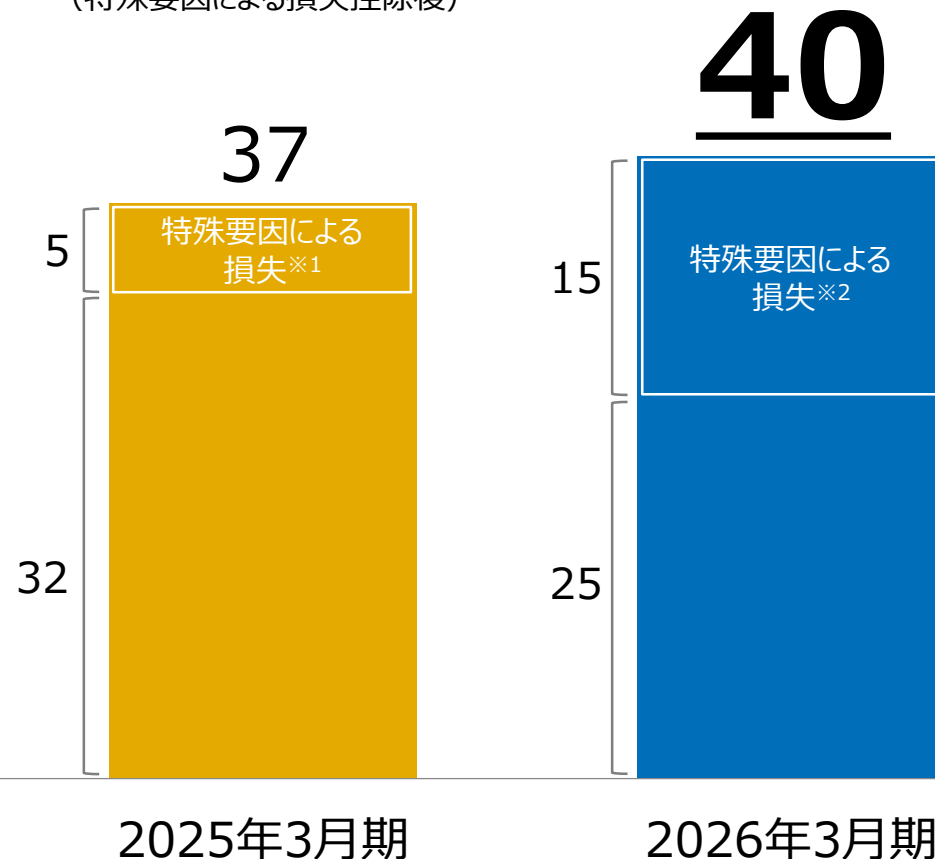
**上方修正
予想比**

+ 56億円
(+ 17.2%)

部門別 当期純利益の状況

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する当期純利益の合計
(特殊要因による損失控除後)



前年比

(特殊要因による損失控除後)

+ 3 億円
(+ 10.2%)

証券事業

前年比 + 3.9 億円 (+ 28.2%)
- マーケット動向を捉えたコンサルティングの実践により増益、預かり資産残高も増加

リース事業

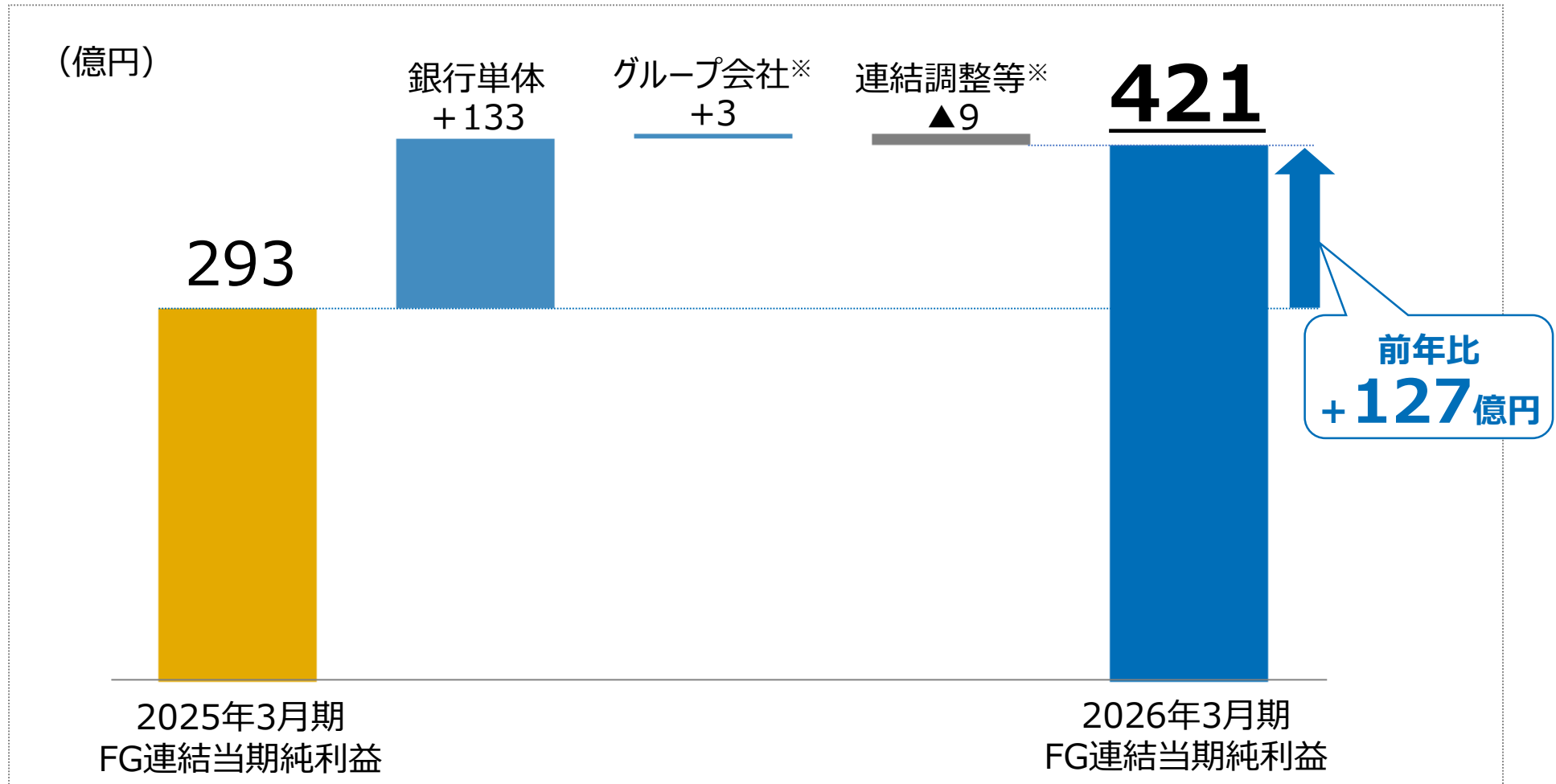
前年比 + 1.2 億円 (+ 17.5%)
- リース資産残高の伸長や平均利回りの上昇などにより増益

※1 北越カードにおける本社ビル売却方針決定に伴う減損損失 ▲5億円

※2 第四北越リースにおける本社移転方針決定に伴う減損損失 ▲7億円及び銀行と平仄を合わせた特定先に対するフォワードルッキングでの引当に伴う信用コストの増加 ▲7億円

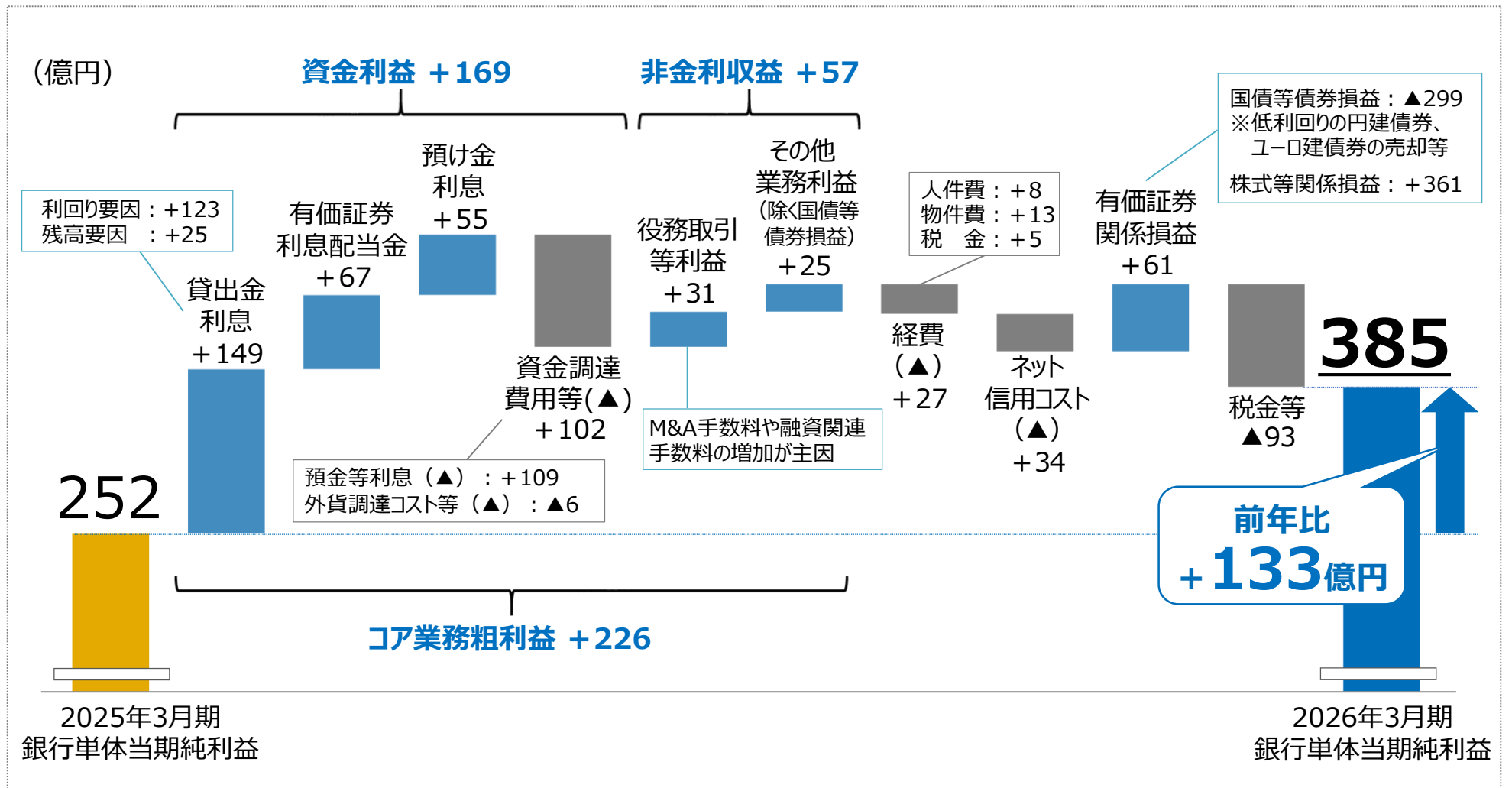
FG連結 増減要因

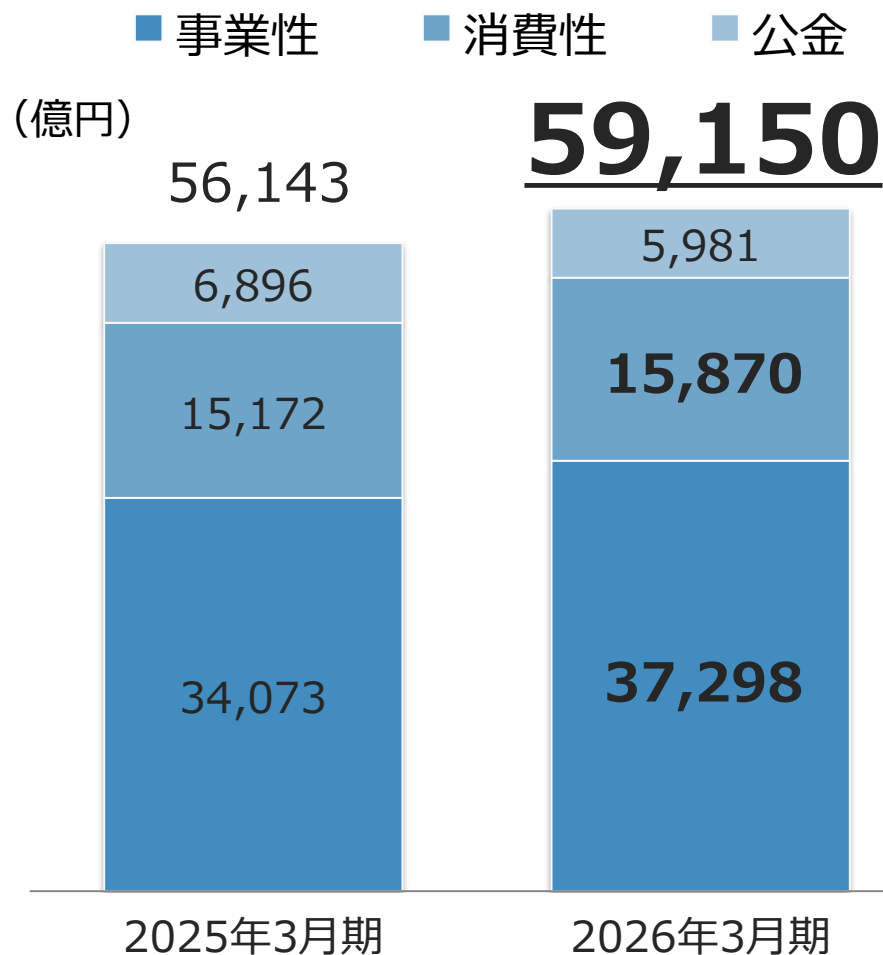
銀行単体の増益を主因に FG連結当期純利益は増益



※特殊要因による損失を考慮

銀行単体の当期純利益はFG設立以来の最高益





前年比

+3,007億円
(+5.3%)

消費性

前年比+697億円 (+4.5%)

- 非対面チャネルの活用や商品ラインアップの増強などにより住宅ローン・無担保ローンともに増加

事業性

前年比+3,224億円 (+9.4%)

- 県内：同▲34億円 (▲0.2%)

- 県外：同+3,258億円 (+18.9%)

県外は資金需要のある大企業向けなどが増加

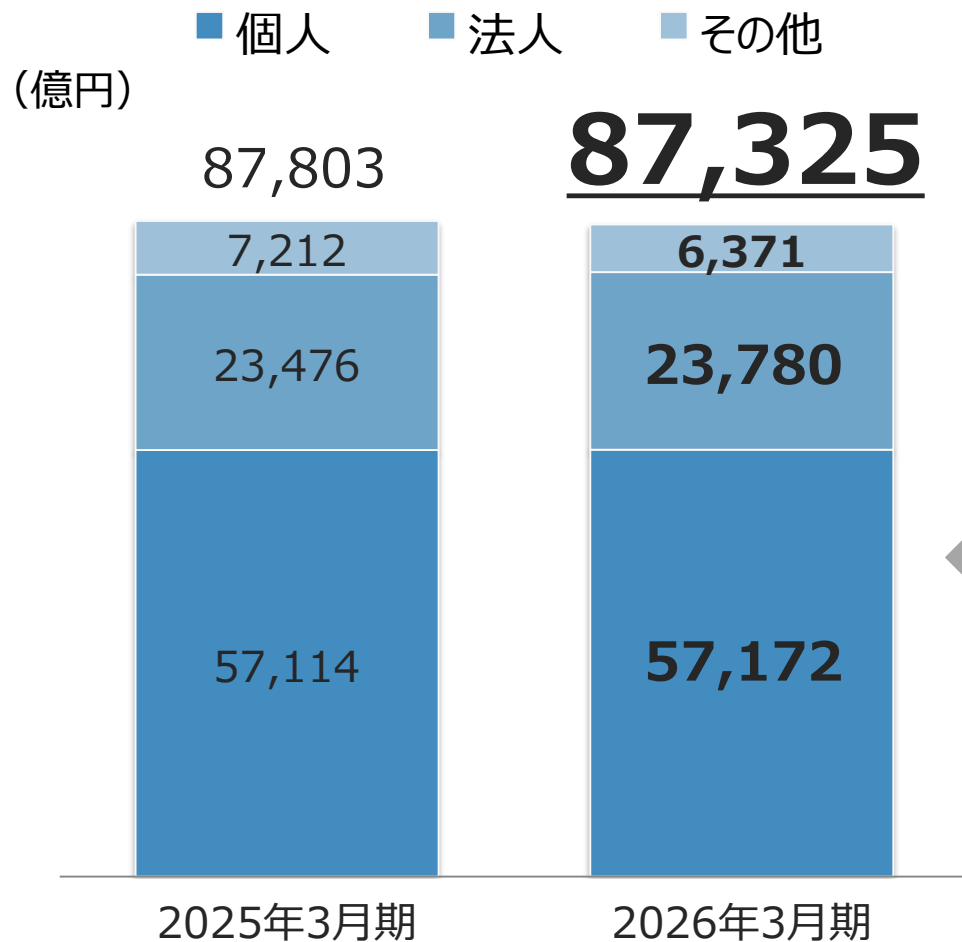
前年比+2,523億円 (+4.5%)

- 事業性貸出平残 同+2,977億円 (+9.2%)

(うち県内 同+70億円、県外 同+2,906億円)

貸出金
平残 54,936**57,459**

預金等残高（末残）



前年比

▲478億円
(▲0.5%)

- 法人
前年比 + 304億円 (+ 1.2%)
- 個人
前年比 + 58億円 (+ 0.1%)
- その他（公金等）
前年比 ▲840億円 (▲11.6%)

- 法人・個人は順調に増加も、公金預金の減少を要因に末残は減少。なお、平残ベースでは増加

預金等
平残

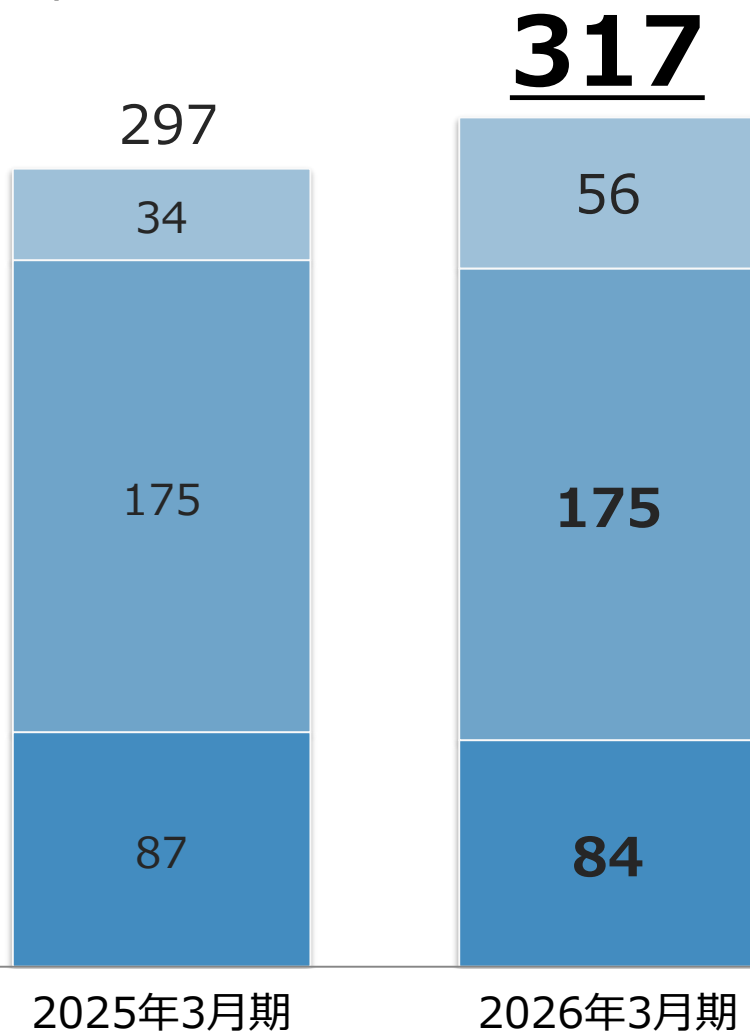
85,939

86,056

前年比 + 117億円 (+ 0.1%)

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)



前年比

+ 19億円
(+ 6.4%)

金融ソリューション収益

前年比 + 0.5億円 (+ 0.3%)

- 外為デリバティブ取引が減少したものの、M&Aは過去最高を更新、シンジケートローンも増加

資産運用アドバイス収益

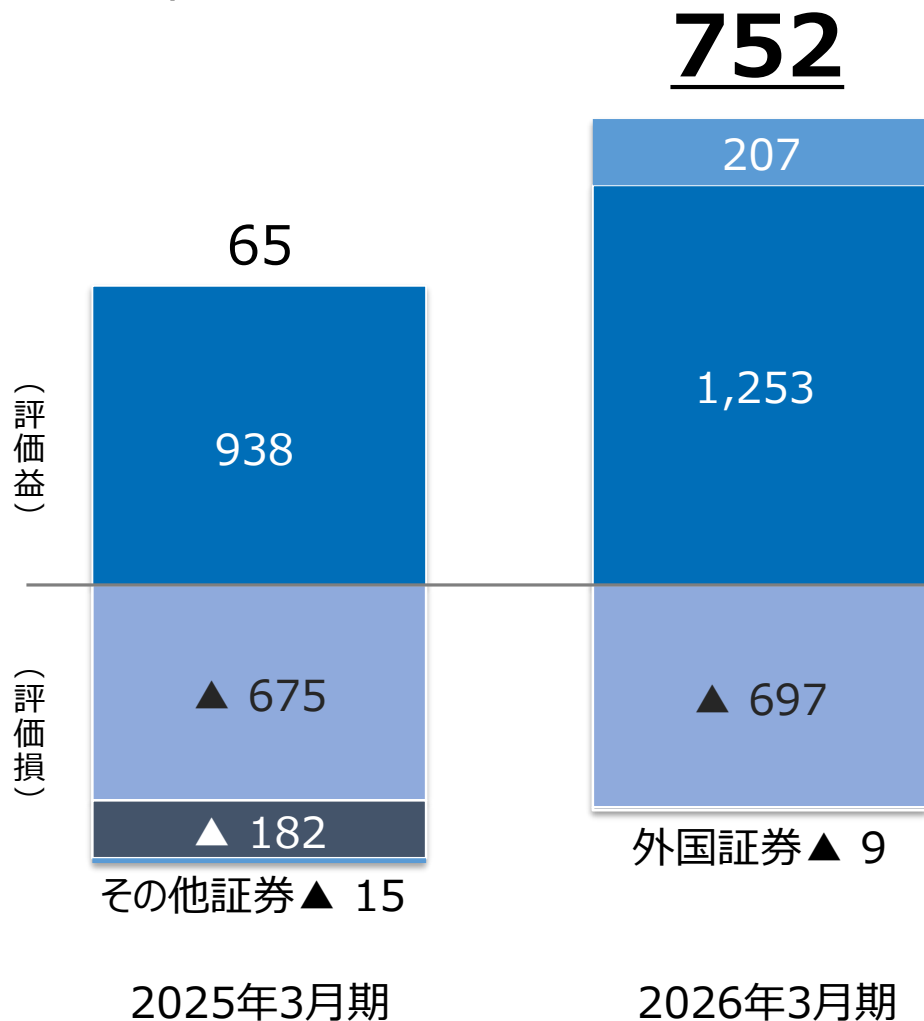
前年比 ▲ 3億円 (▲ 3.9%)

- 投資信託は増加も、手数料体系の変更に伴い、保険が減少

※国内債券及び外国証券については
金利スワップによる繰延ヘッジ考慮後の評価損益

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



有価証券評価損益

前年比 + 686億円

- ポートフォリオ改善を目的に、低利回りの国内外債券を売却。国内債券の評価損拡大を抑制するとともに外国証券の評価損が減少
- 株価上昇により、株式、株式投信が含まれるその他証券の評価損益が改善

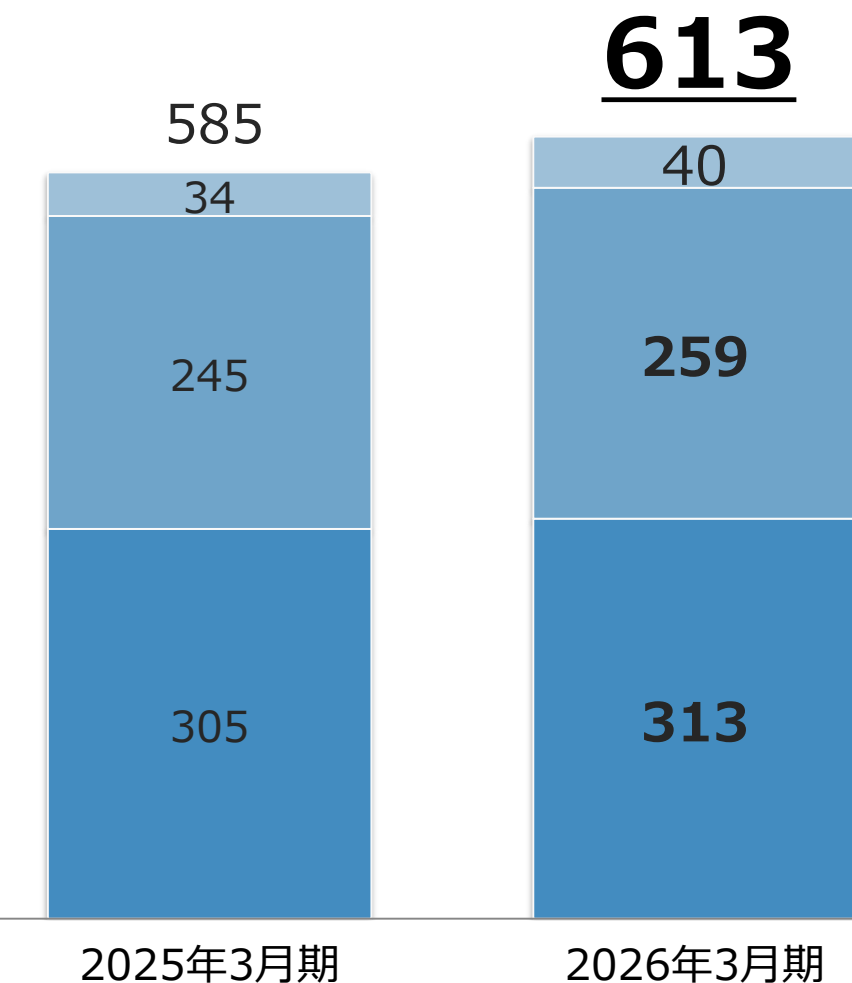
有価証券関係損益

(億円)

	2025/3期	2026/3期	前年比
① + ②	▲45	16	61
①国債等債券損益	▲74	▲374	▲299
②株式等関係損益	29	391	361

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年比

+27億円
(+4.7%)

物件費

前年比+13億円 (+5.6%)

－積極的な戦略的投資などにより増加
(コンサルティング機能の強化、お客さまの
利便性向上に向けたデジタル化、職員の
能力開発に向けた研修費 等)

人件費

前年比+8億円 (+2.7%)

－賃上げを主因に増加

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

2.06

1.94

不良債権比率

前年比▲0.12pt

(億円)

35

69

ネット信用コスト

前年比+34億円

2025年3月期

2026年3月期

- 大口取引先のランクダウン等によりネット信用コストは増加
- 原材料価格や人件費高騰等に加え、中東情勢の緊迫化に伴う影響を注視し、資金繰りや経営改善・事業再生などのきめ細かなご支援に引き続き注力

“第三次中期経営計画最終年度の連結当期純利益は500億円へ”

今回修正する 経営指標目標 (KPI)	第三次中期経営計画 最終年度 2026年度 (2027/3期)					
	当初目標 (2024/4)	1回目 修正目標 (2024/11)	2回目 修正目標 (2025/3)	修正後目標 (2026/4公表)	当初目標比	2回目 修正目標比
連結当期純利益※	270億円	350億円	400億円	500億円	+230億円	+100億円
連結OHR	61%台	57%台	54%台	50%台	▲11pt	▲4pt
連結ROE	5%以上	6.5%以上	7.5%以上	8.7%以上	+3.7pt	+1.2pt

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

主な理由



第三次中期経営計画は計画を上回り順調に進捗

- ✓ グループ一体でのコンサルティング営業の実践を通じ、資金利益及び役務収益のいずれも順調に推移



足下での国内市場金利が想定を上回って推移

- ✓ 前回上方修正時での想定を上回って推移している国内市場金利を織り込む



「基礎的内部格付手法」への変更に伴うリスクアセットの更なる積上げ

- ✓ 2025年3月末からの「基礎的内部格付手法」への変更に伴うリスクアセットの更なる積上げを織り込む

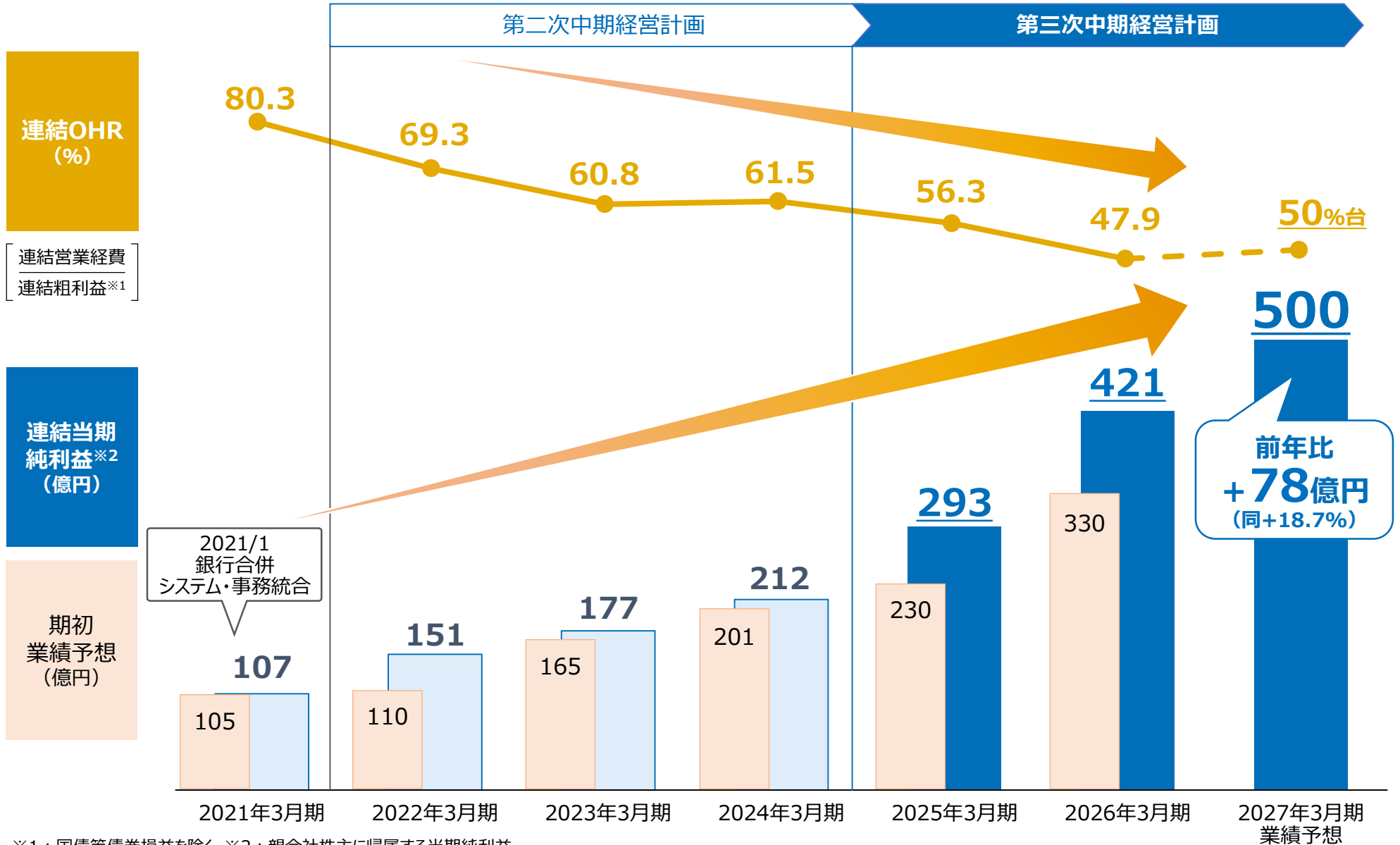


有価証券ポートフォリオの改善による市場部門収益の拡大

- ✓ これまでのポートフォリオの改善を通じた収益改善効果を織り込む

参考

連結当期純利益・連結OHRの推移



※1：国債等債券損益を除く ※2：親会社株主に帰属する当期純利益

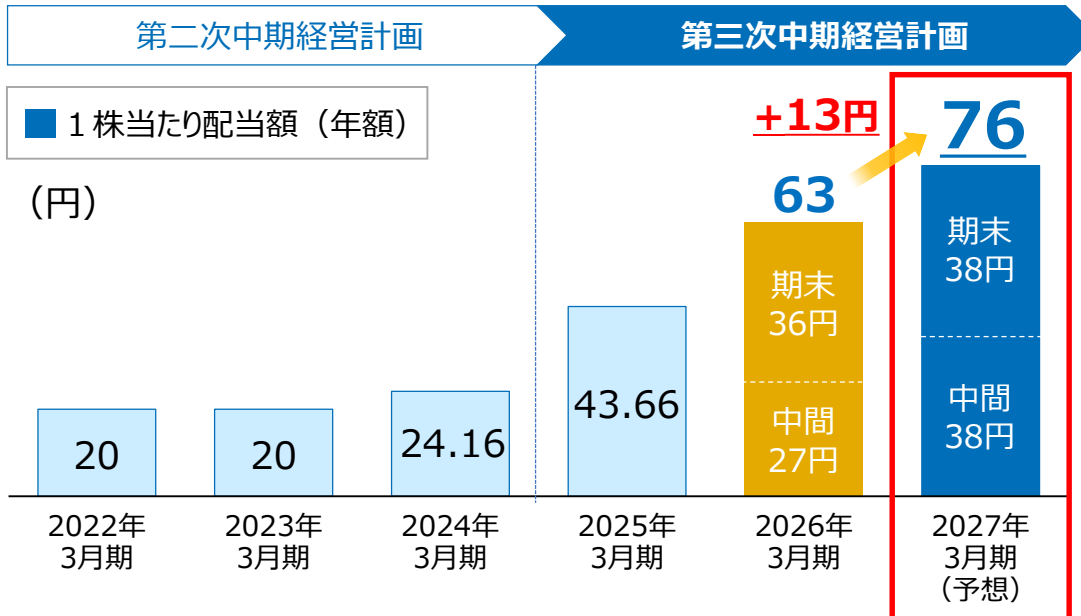
株主還元

※ 2024/10、2025/10に実施した株式分割を踏まえ、過去に遡り株式分割後の配当額に換算

2026年3月期 配当金※

配当の内容	1株当たり年間配当金				年間合計
	中間配当金 【実施済】	期末配当金			
		当初予想 2025年5月公表	修正予想 2025年9月公表	決定額	
2026年3月期	27円00銭	25円00銭	27円00銭	36円00銭	63円00銭 (前年比+19.33円)
2025年3月期	18円66銭	25円00銭			43円66銭

2027年3月期 配当金予想※



株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

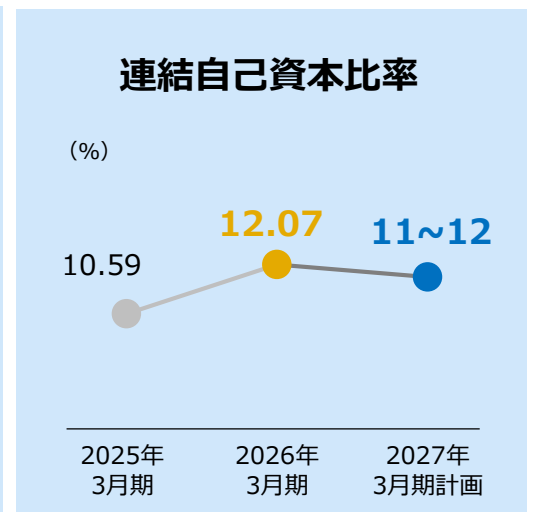
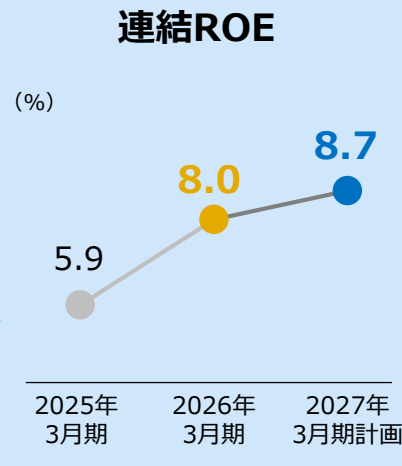
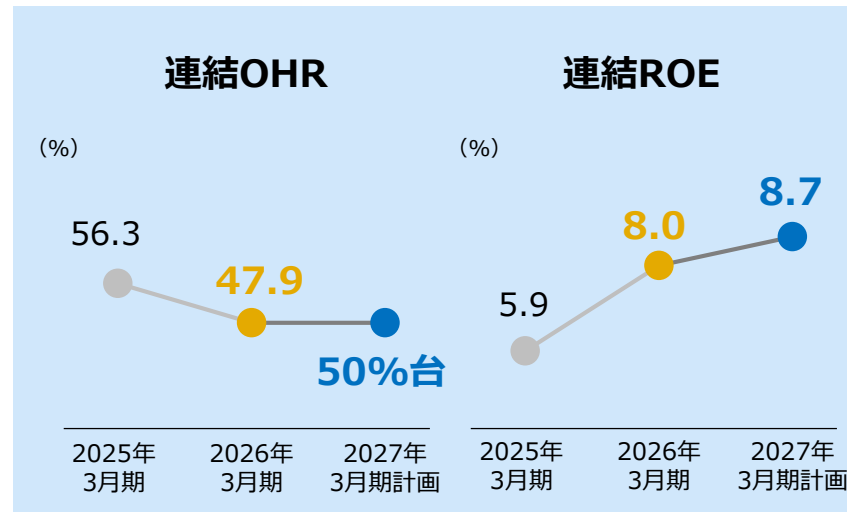
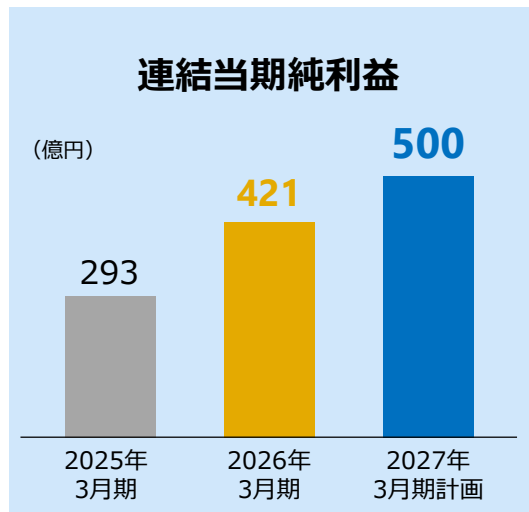
具体的には、**1株当たり配当金は原則として累進的**とし、**配当性向は40%程度**とします。自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に10%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。

経営指標目標（財務的課題）

「財務的課題」に関する経営指標（KPI）		2025年3月期 実績	2026年3月期 実績		2027年3月期 計画
				目標比	
収益力の強化	連結当期純利益※1	293億円	421億円	+61億円	500億円
	連結OHR※2	56.3%	47.9%	▲4.1pt	50%台
生産性の向上	連結ROE	5.9%	8.0%	+0.9pt	8.7%以上
	連結自己資本比率	10.59%	12.07%	+1.07pt	11%~12%

※1：親会社株主に帰属する当期純利益 ※2：連結粗利益（国債等債券損益を除く）に対する連結営業経費の割合



経営指標目標（環境・社会課題）

「環境・社会課題」に関する経営指標（KPI）	2026年3月期 実績	目標比	2027年3月期 目標
	E 地球環境問題への積極的な取り組み		
CO2排出量削減率（2013年度比・年間見込・速報値）	74.3%	4.3pt	78%台
サステナブルファイナンス実行額（2021年度以降の累計）	11,805億円	1,005億円	15,200億円
S 地域・お客さまの課題解決を通じた地域経済・社会の活性化			
創業・事業承継支援件数	3,478件	528件	3,280件
DX・生産性向上支援件数（2024年度以降の累計）	319件	99件	470件
経営指標等が改善した取引先割合	73.4%	▲1.6pt	75%以上
経営改善計画策定支援件数	436件	6件	440件
デジタル顧客数※1	54.2万先	▲7.8万先	80万先
グループ預かり資産残高	18,569億円	2,699億円	18,570億円
販路開拓支援先数（地域商社）※2	842先	22先	930先
人材ソリューション支援件数（2024年度以降の累計）	517件	57件	760件
G 多様性の確保などガバナンスの充実によるステークホルダーとの信頼関係の強化			
女性管理職比率※3	26.8%	0.3pt	27.0%以上
グループ総取引先数※4	66,206先	206先	69,400先

※1：だいしほくえつID保有者（りとるばんく・マイページの利用者等）および個人eネットバンキング利用者数

※2：2019/10の日本橋店舗開設以降の累計（日本橋店舗は2025/11に閉店）

※3：女性管理職（代理級以上）比率（銀行単体） ※4：FGグループ各社と経常的に取引いただいている法人先数（延べ数）



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。